

授 業 科 目 名	造形表現演習	教 員 名	守川 美輪	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	演習	担当形態	単独	卒業要件	保育士	必修
科 目 番 号	HY0301	配当年次	3年前期		こども音楽療育士	
単 位 数	1単位			小幼コース	選択	
科 目						
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
一 般 目 標	<p>保育の現場で活用できるパネルシアターや木の玩具を製作することで、製作に関わる技能と感性、創造性を高める。色と形を扱い、美しい作品をつくるための能力を高める。また、学生が題材を決めて、造形表現に関わる実践内容や方法を調べ、資料を作成した上で、学生がお互いに製作指導を行うことで、造形表現指導をする能力を高める。</p>					
到 達 目 標	<p>(1)木工に関わる技能を高める。 (2)色彩調和理論を理解し、配色のよい作品を製作する能力を高める。 (3)造形表現の実践例を知り、その製作方法や、指導方法を理解する。 (4)パネルシアターやエプロンシアターなどを製作し、演じ方について検討する。</p>					
授 業 の 概 要	<p>幼児および児童が楽しめる仕掛けのあるパネルシアターやエプロンシアター、ペープサートなどを製作し、実際に演じる機会を持つ。作品を丁寧に美しく仕上げ、材料道具の扱いを体験的に学ぶ。製作を通してバランス感覚や構成能力、色彩を効果的に使う能力を含むデザインの能力、創造的な技能を高める。これらの能力は視覚教材作成やプレゼンテーション用スライド作成、ポスター・チラシ製作等に役立つものである。また、実際に活用できる木の玩具を製作することで、道具を取り扱う技能を向上させ、自分で教具を製作しようとする意欲を高める。</p> <p>また、学生が題材を決めて造形表現に関わる実践内容や方法を調べ、資料を作成し、製作指導を行う。製作後、話し合いの機会を持ち、その製作の良さや、指導上の留意事項を話し合う。</p> <p>授業形態は演習とする。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本演習は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「3.教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
履 修 条 件 ・ 注 意 事 項	<p>事前に学生準備物を示すので、忘れず準備すること。道具等の購入場所が分からない場合は担当教員に相談すること。</p>					
授 業 計 画	<p>第1回：造形表現演習の目標と内容を理解する。丁寧な製作をすることで、感性、技能、創造性を高めようとする意欲を持つ。幼児向けの玩具製作に関する実践について知り、実際に積み木を製作する。型取りをして木を切る。次の時間までに磨いてくる。(目標(1))</p> <p>第2回：木の塗装をする。毛糸を使った織物やより紐を製作する。(目標(1),(3))</p> <p>第3回：色彩調和理論を知る。色の三属性と混色について理解する。(目標(2))</p> <p>第4回：造形表現研究①②(学生が調べた造形表現の実践例について、資料をもとに、製作指導をする。)シアターの輪郭を描く。(目標(3),(4))</p> <p>第5回：造形表現研究③④ 水彩絵具の技法を知る。シアターを配色良く塗る。(目標(2),(3),(4))</p> <p>第6回：造形表現研究⑤⑥ シアターを配色良く塗る。(目標(2),(3),(4))</p> <p>第7回：造形表現研究⑦⑧ シアターの仕掛けをつくる。(目標(3),(4))</p> <p>第8回：造形表現研究⑨⑩ シアターを演じる。(目標(3),(4))</p> <p>第9回：造形表現研究⑪⑫ 木の玩具の設計図を書く。(目標(1),(3))</p> <p>第10回：造形表現研究⑬⑭ 木を切る。(目標(1),(3))</p> <p>第11回：造形表現研究⑮⑯ 組み立てる。(目標(1),(3))</p> <p>第12回：造形表現研究⑰⑱ 塗装をする。(目標(1),(3))</p>					

	<p>第13回：染色の下絵を描き、ろうを置く。(目標(2))</p> <p>第14回：染料で色をつける。(目標(2))</p> <p>第15回：脱ろうをし、仕上げる。作品の鑑賞をする。(目標(2))</p>
学生に対する 評価	<p>作品50%・定期試験30%・造形表現資料作成及び製作指導15%・シアター演技5%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
時間外の学習 について	<p>(事前・事後学習として週2時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間内に作品は完成しない。各自時間をかけて、納得できるものとなるよう追究して仕上げる。計画的に時間外学習をすすめてほしい。 ・造形表現研究にあたっては、図書館で資料を探し、参考にするとともに、皆に伝えたいと思えるような価値のあるものを見付けだすようにする。製作指導においては、あらかじめ受講生が準備する材料、用具を伝えておくこと。 ・時間外学習において1-334教室を使ってよい。その際、事前に担当守川にメールで連絡すること。
テキスト	
参考書・ 参考資料等	『実習に役立つ パネルシアターハンドブック』 古宇田亮順 編 萌文書林
担当者からの メッセージ	配色よく、丁寧に仕上げよう。美しいものをつくれれば、何年も大切に使うことができます。
オフィスアワー	火曜日 14:40~16:10